

西濃桃李高等学校 通信教育実施計画

教科	数 学	科目	数 学 A	単位数	2 単位
対象学年	第 1 学年				
授業担当者					
使用教科書	新 数 学 A 東京書籍	副教材	ニューファースト新数学A 東京書籍		
スクーリング	必要出席時間数	2 単位 × 1 = 2 時間以上	スクーリングとレポートを両方合格 することで履修が認められる。		
レポート	必要提出枚数	2 単位 × 3 = 6 枚			
期末試験	合格得点目標	偏差値の 半分以上	考查範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件		

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数学は何千年もの年月を経て発展し、現在でも活発に研究され進化している。普段の生活の場面で、その数学の知識や技能を身に付ける能力を養う。	場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動を学び、世界共通の表し方と記法を身に付け、これらを用いて論証を進める能力を養う。	教科書の例や例題の内容を理解し、解法の書き方を覚え、それに沿って練習問題で自分の解答を作る能力を養い、学んだ事を人に説明する力を付ける。

【年間指導計画】 ※学習方法欄の○は週5週3、□は週1在宅・配当時間は週5生を基準とする。

月	指導単元・項目	学習方法			レポート (<input checked="" type="checkbox"/> 切期日)	評価の観点			配当 時間
		スクーリング	レポート	考查		知	思	主	
4月	確 率(1)場合の数 (2)順列と組合せ	○	○□		No. 1 4/27	○	○	○	6
5月	(3)事象と確率 (4)余事象の確率公式	○	○□		No. 2 5/25	○	○	○	6
6月	(5)独立試行・反復試行 (6)確率分布と期待値	○□	○□		No. 3 6/29	○	○	○	7
7月	図 形(1)平面図形と多角形 (2)基本的図形の作図	○□	○□			○	○	○	2
8月	前期期末考查対策授業	○	○□						2
9月	(3)基本的図形の作図	○	○□	前期期末考查	No. 4 9/14	○	○	○	6
10月	(4)三角形と比の性質 (5)三角形の外心と内心	○□	○□		No. 5 10/26	○	○	○	5
11月	(6)円周角の定理 (4)接弦定理と方巾の定理	○□	○□		No. 6 11/30	○	○	○	5
12月	空間図形(1)直線と平面の位置関係	○	○□			○	○	○	3
1月	(2)オイラーの多面体定理 人間活動(1)数や位置を表す理	○□				○	○	○	4
2月	学年末考查対策授業 (2)数の造りを調べる	○		学年末考查		○	○	○	6
3月	(3)長さや面積を測る (4)数学で遊ぶ	○				○	○	○	4